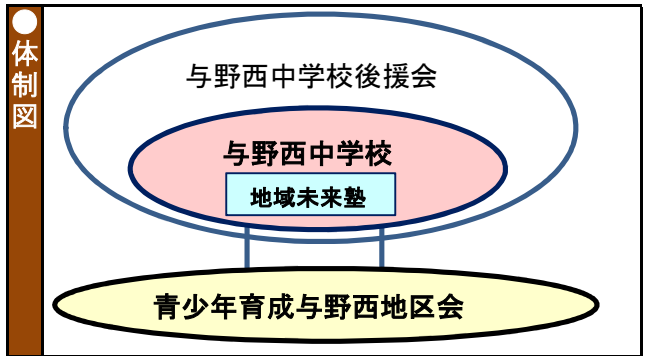


「希望の登校 笑顔の活動 満足の下校」 のための地域と学校の連携

埼玉県さいたま市	●活動名 与野西中学校区コミュニティ・ネット	●関係する学校名 さいたま市立与野西中学校
----------	---------------------------	--------------------------

協働活動開始年度	平成 27 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	18 学級	のべ児童・生徒数	547 人
活動区分	学校支援活動	—		—			
	地域未来塾	—		外部人材を活用した教育支援活動			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	1人		地域学校協働活動推進員等の数	1人		
	指定・設置日	平成31年4月1日設置予定		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有
学校運営協議会	参考URL		http://yononishi-i.saitama-city.ed.jp/				



●連絡先	さいたま市立与野西中学校	☎ 048-852-6235
------	--------------	----------------

●活動の概要・経緯
与野西中学校後援会の支援を受けている本校と、校区の子供たちの健全育成に関わる青少年育成与野西地区会が密接に連携し、地域全体で子供たちを見守り、よりよい成長につなげるよう活動している。後援会を組織している校区の自治会と、青少年育成与野西地区会とは、それぞれの単独の活動のみならず、互いに連携して保護者や子供たちを包含しながら地域住民をまとめる役割を担っている。地域の祭りでは、青少年育成与野西地区会が中心となり、教職員、PTAと共に巡回を行うことで、子供たちが安全に地域の伝統文化を体験することを可能にしている。
土曜日には、統括的な地域学校協働活動推進員が中心となり、地域の大学生ボランティアを指導者に、「土曜チャレンジスクール」を開催し、生徒個別に対応した親身な指導を可能にし、学習意欲の向上につなげている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

毎年、7月・11月・1月の土曜公開授業の後に校内と校区内の美化活動を実施している。生徒は全員参加し、保護者有志や各自治会への呼びかけに積極的に応じて多くの地域の方も参加している。校区をきれいにする体験活動を通して、地域で生活している一員としての自覚と、他者を思いやる心、親の世代から受け継がれる伝統を感じる心の醸成を図っている。また、教職員と育成会とが連携し、年7回の校区巡回パトロールも毎年実施している。さらに、授業日の8:00～8:30には、クラスごとに保護者が6～7名ずつ交代で、正門付近に立ち、登校してくる生徒たちにあいさつや声掛けを実施している。管理職、学校地域連携コーディネーターも正門に立ち、保護者と共にあいさつ運動を行うことで、生徒についての情報交換が可能となり、日々の教育活動に生かしている。

【実施に当たっての工夫】

校区環境美化活動では、青少年育成与野西地区会と連携し、地域の自治会向けにも事前に周知し参加者を募っている。また、保護者や地域の方が参加しやすいように、土曜日の学校公開日に実施するといった工夫をしている。保護者の有志は部活動ごとに生徒や顧問と一緒に美化活動を実施することで、親子の家庭外での交流を深めている。美化活動後には青少年育成与野西地区会が準備してくれた飲み物でリフレッシュの時間を共有しながら交流を図っている。年7回の巡回パトロールでは教職員と地域住民が一緒にパトロールをすることで校区内の危険箇所等についての理解を深めている。朝のあいさつ運動は、PTAが保護者全員を1日6～7人に分担し、学校安心メール等を利用して協力を呼びかけている。保護者の都合に配慮し、他の日と振り替えられるよう柔軟な対応をしているので、参加率は非常に高い。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

体育祭や文化発表会、合唱コンクールなどに多くの地域住民が参観に訪れる。「学校行事の開催を心待ちにしている。」という声を直接的、間接的に頻繁に耳にすることからも、今まで以上に学校教育諸活動に関心をもち学校支援に関わろうとする地域住民の意思が伺える。学校への関心の高まりに伴い、教育環境の整備を中心にきめ細かな援助活動を推進しようという与野西中学校後援会の活動も活発化している。これにより、AEDなど高額な医療機器の追加配置を可能にし、安心・安全な教育活動環境を実現している。また、保護者による毎朝のあいさつ運動や、年に7回の校区巡回活動の計画的な実施により、互いの顔が見える関係を築くことも、安心・安全の確保につながり、生徒たちは日々学習や部活動に集中して取り組んでいる。

●その他

JAF(日本自動車連盟)を招いての交通安全教室、私立高校の教頭を講師とする3年生と保護者へのキャリア教育、校区内の高校教諭による合唱コンクールの審査、産婦人科医を講師とする全校性教育講演会の実施等、外部人材を積極的に活用している。



こ察あ
のい保
も協さ護
あ力つ者
るに運が
。よ動毎
りを朝
安行正
全つ門
指て付
導い近
るにを
行。立
う警ち



を校
年が青
3連少
回携年
携し育
実し成
施て成
して校
区与
野西
の環
境西
。美区
化会
活と
動学